

令和4年度  
事業報告書

学校法人 一川学園  
越生自動車大学校  
清和学園高等学校

## 目次

1	法人の概要.....	1
	(1) 建学の精神.....	1
	(2) 学校法人の沿革.....	1
	(3) 設置する学校・学科等及び学生・生徒の定員.....	2
	(4) 役員の概要.....	2
	(5) 教職員の概要.....	3
2	事業の概要.....	3
	(1) 越生自動車大学校.....	3
	(2) 清和学園高等学校.....	4
3	財務の概要.....	6
	令和4年度決算の概要.....	6
	①資金収支計算書の概要.....	6
	②消費収支計算書の概要.....	6
	③貸借対照表の概要.....	7

## 法人の概要

### (1) 建学の精神

本学園の建学の精神は、戦後の産業復興の中で次代を担う青少年の技術教育の必要性を痛感し、自動車整備技術者養成の越生自動車学校整備科を創立した一川正壽が唱えた「行うことによって学ぶ」である。

建学の精神である「行うことによって学ぶ」の下、その後校名変更、改組等を経て、現在では専門学校越生自動車大学校、清和学園高等学校の2校となっている。両校ともこの建学の精神を土台にして、越生自動車大学校では自動車産業界における自動車整備士の技術者養成に取り組み、清和学園高等学校では普通科・自動車科に次いで調理科を開設し7年目を迎えた。通信制高校では初の自動車整備士、調理師の資格取得が出来る職業教育を中心とした学園となった。

令和4年度に迎えた学園創立60周年にあたり、記念事業として越生自動車大学校の新校舎並びに新実習棟、清和学園高等学校では自動車科第2実習場が完成した。それに伴い、先進技術教育にも対応した設備やICT教育を可能とした施設となり、両校とも大幅な教育環境向上が実現できた。今後も、建学の精神に根差した職業教育を継続し、地域の経済産業界に寄与する人材育成に努めて参りたい。

### (2) 学校法人の沿革

昭和37年 9月	越生自動車学校整備課認可
昭和40年 4月	越生自動車技術学校と校名変更
昭和40年10月	自動車分解整備事業認証
昭和40年12月	運輸大臣指定 一種自動車整備士養成施設
昭和52年 9月	学校教育法改正により、専修学校越生工業技術専門学校と改組
昭和54年 2月	測量科認可
昭和55年 4月	専門課程自動車整備専攻科2年生認可
昭和55年11月	学校法人一川学園認可
昭和58年 4月	高等課程機械科3年生設置
昭和61年 3月	大学入学資格付与指定校
平成元年 3月	高等課程5階建新校舎完成
平成 2年 4月	情報機械工学科認可
平成 3年 5月	情報システム工学科新設
平成 6年 3月	科学技術学園高等学校との技能連携開始
平成 7年 1月	工学系専門士の称号付与指定校
平成13年 4月	自動車整備科と科名変更
平成16年 4月	清和学園高等学校開校 自動車科・普通科設置
平成18年 4月	1級自動車整備科(2年制) 設置
平成21年 4月	専門学校越生自動車大学校と校名変更
平成21年 4月	情報システム科と科名変更

平成24年 9月 創立50周年記念式典挙行  
 平成29年 4月 清和学園高等学校 調理科設置  
 令和3年 3月 越生自動車大学校 2階建新校舎完成  
 令和3年 3月 清和学園高等学校 第2実習棟完成  
 令和4年 3月 越生自動車大学校 新実習棟完成  
 令和4年 4月 1級自動車整備科(4年制)設置  
 令和4年 4月 1級自動車整備専攻科(2年制)と科名変更  
 令和4年 4月 2級自動車整備科と科名変更  
 令和4年10月 創立60周年記念式典挙行

(3) 設置する学校・学科等及び学生・生徒の定員

令和5年3月31日 (単位:人)

設置する学校	学科	入学定員	収容定員
越生自動車大学校	1級自動車整備専攻科	5	10
	1級自動車整備科	20	80
	2級自動車整備科	30	60
	計	55	150
清和学園高等学校	自動車科	40	120
	普通科	80	240
	調理科	40	120
	計	160	480
学園計		220	600

(4) 役員の概要

令和5年3月31日

区分	氏名	形態
理事長	一川高一 非常勤 理事	非常勤
理事	西澤孝夫	非常勤
理事	吉澤武利	非常勤
理事	山口雄啓	非常勤
理事	市川治子	常勤
理事	新井司	常勤
監事	波田二三雄	非常勤

監事	佐々木航	非常勤
----	------	-----

(5) 教職員の概要

令和5年3月31日 (単位：人)

学校別	本務教員	兼務教員	本務職員	計
越生自動車大学校	14	3	2	19
清和学園高等学校	18	11	4	33
学 園 計	32	14	6	52

2 事業の概要

建学の精神「行うことによって学ぶ」及び校是・校訓に基づき、教育の質の担保、向上を図り、誠実・挑戦・感謝の念を持った職業人になれるよう人材育成の教育を行っております。

また、少子化により志願者数が減少する中、学園の存続と更なる発展を期するため、清和学園高等学校に工業分野とはちがう「調理科」を設置し7年目となるが、生徒の男女比は各々約50%で学園全体で女子生徒の増につながった。さらに学生・生徒数の確保とコストを抑制し財務体質の健全化を図りつつ、教育環境の整備を行って来ました。越生自動車大学校においては創立60周年記念事業として、新校舎・新実習棟が完成致しました。清和学園高等学校においても記念事業の一環として自動車科の第2実習場を建設致しました。両校とも教育環境が一新され、持続性のある学校としての基盤作りが整ったこととなります。学園存続のための、安定的な入学者確保に向け教職員一丸となって邁進致します。

(1) 越生自動車大学校

・学生募集活動

令和4年度入学生は、1級自動車整備科11名、2級自動車整備科24名、1級自動車整備専攻科4名の総数39名であった。今年度から設置した4年制の1級自動車整備科の入学者数が定員20名に対し11名となった、第一期生としては定員の5割を超えたので安堵している。今後は1級自動車整備科が本校の柱になるので、次年度は入学者の更なる増加を目指したい。

依然として募集環境は厳しい状況ではありますが、創立60周年記念事業としての新校舎や新実習棟の建設工事も完了し、教育環境を向上することができました。このような取り組みは、学生募集に大きな力となると考えています。また、修業年限4年の1級自動車整備科の2期生は定員を100%充足できる見込みである。今後は、この1級自動車整備科が本校の軸となり学園の安定運営に繋げていきたいと思っております。

・進路状況

就職希望者は一級自動車整備科7名、自動車整備科15名の計22名で、概ね卒業生全員が第一希望の企業に内定を得ることができました。また、2級課程を卒業した進学希望者

15名が、本校の1級自動車整備専攻科に入学しました。

・資格検定

資格名	受験者数	合格者数	合格率
一級小型自動車整備士	7	6	85.7%
二級ガソリン自動車整備士	31	28	90.3%
二級ジーゼル自動車整備士	31	31	100.0%
フォークリフト運転技能講習	38	38	100.0%
ガス溶接技能講習	20	20	100.0%
アーク溶接特別教育講習	21	21	100.0%
危険物乙4	6	4	66.7%
職業訓練指導員	7	6	85.7%
2級2輪自動車整備士	7	6	85.7%

(2) 清和学園高等学校

・生徒募集活動

令和4年度については、コロナ禍が少し落ち着きを見せている中で、オープンキャンパで調理科においては調理実習体験が3年ぶりに開催でき、生徒の楽しい実習風景が垣間見れた。自動車科においては、昨年度まで2年連続「三級自動車整備士」国家試験100%合格者を出すことができていたが、今年度は一人合格できなかった生徒が出てしまい、3年連続「三級自動車整備士」国家試験合格目標は達成できなかった。全国の高等学校「三級自動車整備士」の合格率平均が70%前後の中で本校は健闘していると自負している。「行うことによって学ぶ」という本校の建学精神のもと自動車科と調理科においては、「三級自動車整備士」・「調理師」の国家資格の取得が可能のため、将来の目標がすでに決まっている生徒においては、選択しやすい学科である。

一方普通科においては、本来の通信制高校のスタイルである働きながら学べる週一日コースは、ここ数年中学校からの入学者・高等学校からの転編入生共に減少傾向にあり、生徒数はあまり増えていない。その一方普通科平日コースにあっては、多様化する生徒の学びの場として、全日制高校にない、弾力的なカリキュラムが生徒や保護者のニーズを捉えて増加する傾向にある。少子高齢化が急速に進む中、本校としては、生徒一人ひとりに寄り添い、やればできるといった自己効力感を高められる取り組みを通して、生徒の夢や希望を叶えられる学校を今後も目指していきたい。

令和4年度の生徒募集については、普通科平日コース38名・普通科週一日コース7名調理科35名・自動車科30名の合計110名という入学生であった。

・進路状況

コース	卒業生数	大学・短大	専門学校	就職	その他・未定
普通科（平日）	36	4	13	8	11
普通科（週一）	25	2	8	4	11
自動車	26	0	22	4	0
調理科	31	1	18	10	3
合計	118	7	61	26	25
パーセント		6%	51%	22%	25%

令和4年度は、求人数が514社と近年になく多くの求人が本校にも寄せられた。進学決定者は大学・短大への進学が7名・専門学校への進学者61名・就職26名となった。今年度は専門学校への進学者が多くなった。

一方専門学校への進学者のうち本校が併設する越生自動車大学校へは、23名が進学した。

学校法人一川学園創立60周年という節目の年でもあり、校舎・自動車実習場も新築され教育環境が整った。通信制高校でも就職先がきちんと決定できる高等学校を今後も目指して行きたい。

・資格検定

資格名	受験者数	合格者	合格率
三級ガソリンエンジン整備士	26	25	96%
フォークリフト特別教育講習修了者	9	9	100%
アーク溶接特別教育講習修了者	26	25	96%
乙種4類危険物取扱者	4	2	50%
日本語ワープロ検定試験	11	10	90%
日本情報処理技能検定試験(表計算)	12	12	100%

### 3 財務の概要

#### 令和4年度決算の概要

##### ① 資金収支計算書の概要

収入の部では、学生生徒等納付金収入が学生生徒数の増により前年度比1,288万円増加し2億7,925万円となりました。寄付金収入については創立60周年記念事業特別寄付金等募集を行い373万円となりました。付随事業・収益事業収入については200万円の増収となりました。また借入金として新たに3億円が発生し昨年度の2億円を返済し2億750万円となりました。

他方、支出の部では、教育研究経費支出においては、円安等により光熱費は電気料の値上がりにより昨年比350万円増加となり、1,055万円となりました。消耗品費は創立60周年記念事業式典により昨年度比160万円の増となりました。保守費は昨年比208万円の増であるが清和学園高等学校の校務システム入替えによるものであり569万円となりました。修繕費については越生自動車大学校外構に係る旧駐輪場、ブロック塀の解体費用2,027万円が修繕費として発生しているものの、前年度も旧実習棟の解体費用の支出3,345万円があったことから、教育研究費支出合計は前年度比829万円減少しています。

施設関係支出では、越生自動車大学の構築物として最終工事である外構工事の6,908万円を計上し7,173万円となりました。

なお、資産売却収入は4億1,689万円、資産運用支出4億286万円と各々前年度より減少しておりますが、内容としては前期末未払金の支払いのため解約及び満期償還による売却収入、再投資によるものである。

以上の結果、次年度繰越支払資金は昨年度比4,673万円の増となり、2億6,498万円となりました。

##### ② 事業活動収支計算書の概要

「事業活動収支計算書」においては、学園の収支を「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つに区分して表示されています。

「教育活動収支」は、学園本来の活動である教育研究活動における収入と支出の内容を明らかにするものですが、当年度においては5,469万円のマイナスである。なおこの大幅な支出は越生自動車大学旧外構に係る解体費用の支出や一昨年、昨年度新築した越生自動車大学校舎、実習棟及び清和学園高等学校第2実習場の減価償却費を主な原因とするものです。

「教育活動外収支」は、教育活動以外の経常的な活動による収支を明らかにするものですが、実際の内容は経常的な財務活動による収支となっています。本年度は運用収益、収益事業収入により収益差額は2,780万円のプラスになりました。

「特別収支」は、非経常的な活動による収支を明らかにするもので、当年度においては旧溶接場や旧舗装の除却による施設処分差額や有価証券処分差額の計上により1億4,222万

円のマイナスとなっています。

上記の結果として、学園全体での実質的な収支である基本金組入前当年度収支差額では1億1,441万円のマイナスとなりました。

### ③ 貸借対照表の概要

学園の財産状況を表す「貸借対照表」においては、資産の部では過年度修正による土地が昨年末比1,308万円増加し、7月には創立60周年事業工事完成引き渡しにより、第2号基本金引当特定資産を取崩し、なくなりました。その他固定資産は昨年末比5,741万円減少し資産の部合計は昨年末比1億3,858万円減少し59億4,842万円となりました。

負債の部では、60周年事業完成により未払金は昨年末比1億2,344万円減少し、3,198万円となりました。また、新たに3億円の借入金が発生し昨年度借入金2億円と今年度分750万円を返済し2億9,250万円となりました。これらの結果、負債の部合計は4億6,385万円となりました。